

NTT千葉グループ CSR報告書 2010

つながる。
それは、
ECO 



編集方針

本報告書は、持続可能な社会の実現をめざすNTT千葉グループの社会、環境に関する取組みと実績を、お客さまをはじめとした、事業に関わるすべての皆さまに報告するものです。

NTT千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける会社を目指して」日々の活動を実践しています。この活動をステークホルダーの皆さまにより解りやすくお伝えしたいと考えた構成としております。

■報告期間

2009年4月1日～2010年3月31日です。
(注)一部、2010年4月1日以降の活動を含んでいます。

■報告組織の範囲

原則として、NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、およびその他NTT東日本が出資し、関連するグループ会社としています。

■発行時期

2010年11月
(次回：2011年秋を予定しています。)

■参照ガイドライン

- ・環境省作成「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- ・「NTTグループ環境会計ガイドライン2008年版」
- ・環境省作成「環境会計ガイドライン2005年版」
- ・GRI「サステナビリティリポーティングガイドライン2006」

目次

トップメッセージ	1
報告組織の概要	2
NTT千葉グループのCSR	3
コーポレートガバナンス	5
リスクマネジメント	6
コンプライアンスの徹底	7
人権啓発	8

■安心・安全な社会のために

災害対策の取り組み	9
情報セキュリティの確保	11

■地球環境を守るために

環境マネジメント	12
環境負荷低減に向けた取り組み	14
環境貢献活動	15

■人と社会のために

お客さま満足度(CS)向上	17
次世代につなぐ取り組み	18
技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～	20

■チームNTTの取り組み

地域社会への貢献	21
働く社員の安全・健康増進	24
多様性の尊重に向けた取り組み	25

コミュニケーションツールのご紹介	26
------------------	----

表紙について

表紙のデザインは、「人と人」「人と社会」そして「人と地球」をつなぐことをイメージしてデザインしました。
なお、表紙中央の写真は、社員から応募があった『千葉県の写真』の中から「大山千枚田」(NTT東日本一千葉総務部 高野晃撮影)を掲載しました。

■お問い合わせ先

株式会社NTT東日本一千葉
総務部CSR推進室

〒261-8501
千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟
Tel:043-274-2786 FAX:043-274-4440

トップメッセージ

「つなぐ」を最大の使命として、安心・安全で豊かな未来に貢献します

人と人、人と社会を「つなぐ」

情報通信分野においては、ＩＣＴ（情報通信技術）の進展により国民生活の利便性の向上や、教育・医療・環境等さまざまな分野への貢献が期待されています。また、SaaSやクラウドコンピューティング等新たなＩＣＴ活用の動きも活発になってきています。

このような状況の中、ＮＴＴ東日本グループにおいては、光アクセスサービスの普及・拡大はもとより、光ＩＰ電話や映像サービスなどの付加価値が高く使い勝手のよい次世代ネットワーク（ＮＧＮ）ならではのサービスの提供に努めてきました。これからも、「身近な総合ＩＣＴ企業」として、お客さまや地域・コミュニティの安心・安全・便利に配慮したさまざまなサービスを充実させることで、ＩＣＴを利活用することにより少子高齢化や低炭素社会への対応といった経済的・社会的課題の解決に貢献していきます。

ＮＴＴ千葉グループにおいては、「つなぐ」を最大の使命として、情報通信サービスの提供を通じて人々の生活を便利にしたり企業活動を効率化することはもとより、人と人、人と社会が安心・安全につながることに貢献していきます。このことが「お客さまに選ばれ続ける企業」に繋がるものと考えています。また、わたしたちが提供する「つなぐ」というサービスは、人や物の移動を効率化することが可能です。資源やエネルギーの消費を抑えることで、環境負荷の軽減にも貢献できると考えています。

ＣＳＲ活動を推進し、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざしていきます

ＣＳＲ活動は、我々が取り組んでいる事業活動に連動させることが重要だと考えています。事業を適正に推進するために必要なものは「基本動作の徹底」であり、社員一人ひとりが法令や社会的規範を遵守することはもとより、一人ひとりが自らが携わっている仕事の役割を理解し行動できているか確認することが重要です。

わたしたちが取り組んでいる事業は、お客さまに選んでいただければ終わりというものではなく、サービスを使い続けていただくことにより、初めて成り立っていただけるものです。

「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざすために、①ＣＳＲ活動を推進し、情報セキュリティの徹底、環境負荷の低減、および社員一人ひとりの安全や健康を維持していくこと、②仕事を標準化・共有化して細やかな対応を通じてお客さまに満足していただくこと、③日々の仕事を通じて、社員の行動や仕事のプロセスを改善していくこと、④社員相互が円滑にコミュニケーションがとれるよう働きやすい職場環境を整えること、を推進していきます。

最後に、本報告書はＮＴＴ千葉グループの環境貢献活動や社会貢献活動をはじめとするＣＳＲの取り組みをご紹介しますので、ご高覧いただければ幸いです。

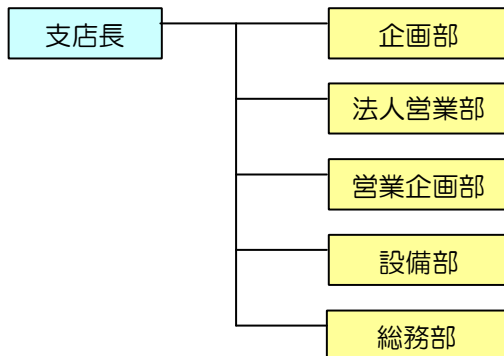


東日本電信電話株式会社
取締役千葉支店長

加賀谷 卓

報告組織の概要

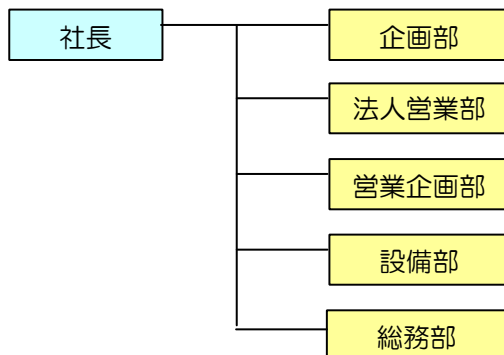
■NTT東日本千葉支店



ポジショニング
とミッション

千葉県におけるサービス提供と収支についての責任を担い、県域会社の自主的・自立的な事業運営を支援すると共に、グループ会社間協業・連携を円滑かつ強固にする役割を果たす。

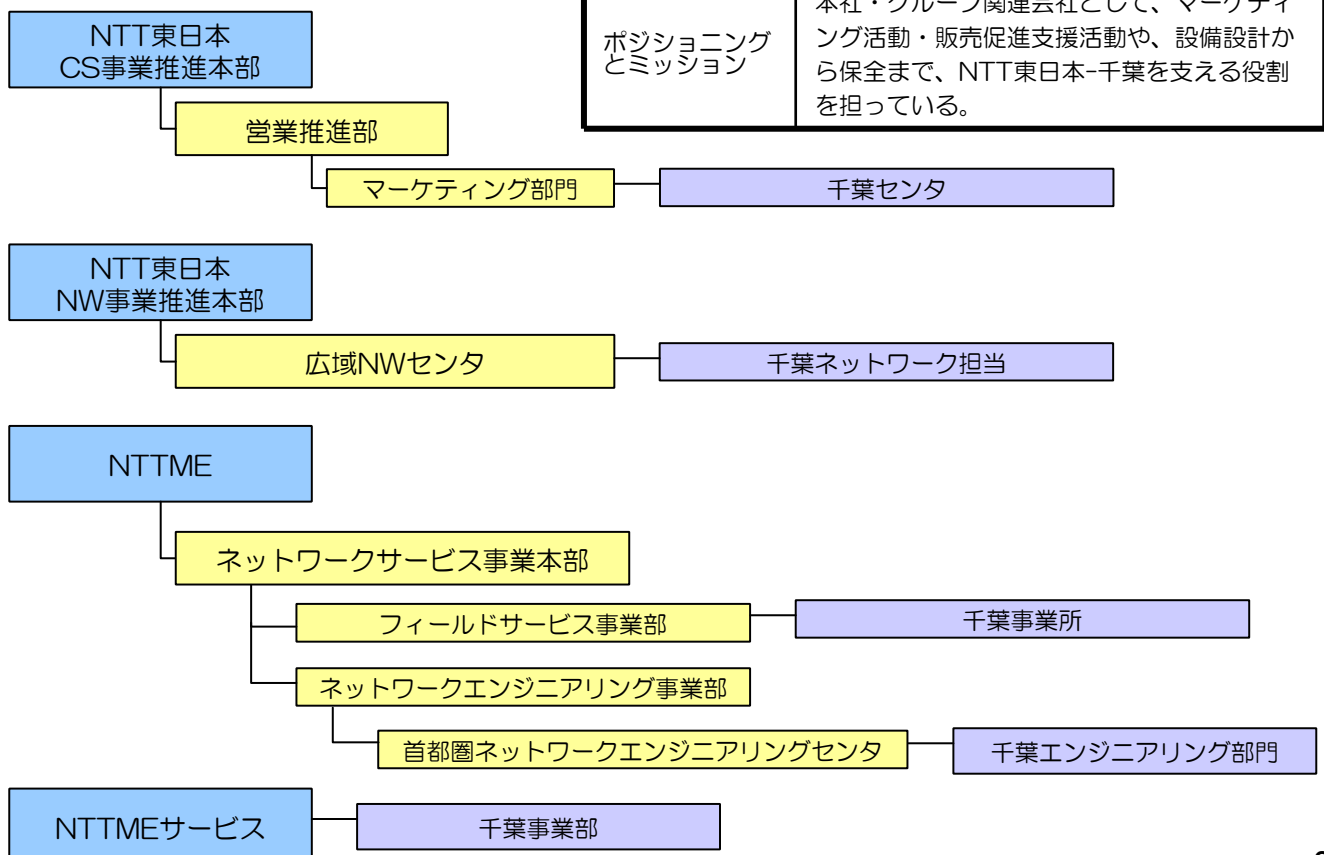
■NTT東日本ー千葉



ポジショニング
とミッション

千葉県におけるNTT東日本グループの代表として、お客様に電話や光アクセスサービス等の様々な情報通信サービスの提供をすると共に、システムインテグレーションや、ブロードバンド周辺ビジネスの提案から設定工事、メンテナンスまでのサービスを幅広く提供する役割を果たす。

■NTT千葉グループ関連組織



ポジショニング
とミッション

本社・グループ関連会社として、マーケティング活動・販売促進支援活動や、設備設計から保全まで、NTT東日本-千葉を支える役割を担っている。

NTT千葉グループのCSR

NTT千葉グループは、NTTグループのCSR活動の基本理念「NTTグループCSR憲章」（2006年6月制定）の実践に向けて、「NTT東日本グループCSR行動基準」（2007年4月制定）、「NTT千葉グループ企業理念」（2005年7月制定）、および「NTT千葉グループ行動指針」（2005年7月制定）に基づき、社員一人ひとりが事業活動を通じてCSR活動に取り組んでいます。

NTTグループCSR憲章

●CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

●CSRテーマ

■安心・安全なコミュニケーション

- ・私たちは、社会を支える生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供します。
- ・私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

■人と地球のコミュニケーション

- ・私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組みます。

■人と社会のコミュニケーション

- ・私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少、高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

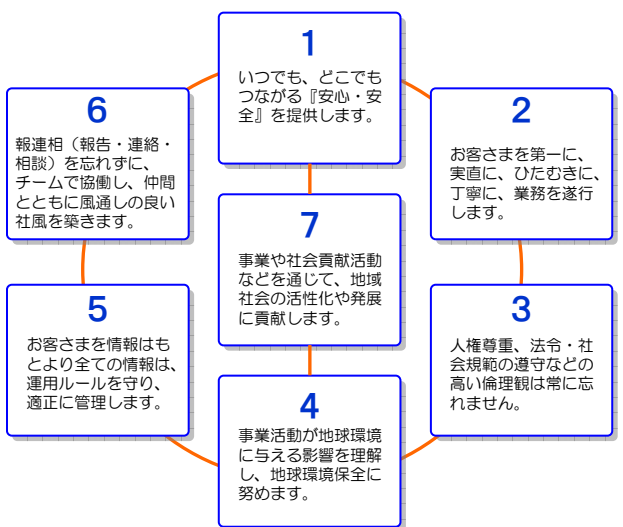
■チームNTTのコミュニケーション

- ・私たちは、“チームNTT”の一員として、責任と誇りを胸に、高い倫理観を持って事業に取り組み、個の成長に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果たしていきます。

※ チームNTTとは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員のみならず、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々です。

NTT東日本グループCSR行動基準

私たちは、情報通信サービスの提供を通じて、持続可能な社会の一員として信頼されつづけることを目指し、さまざまなニーズに的確に応え、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。その実現に向け、一人ひとりが、「社会や環境との共生なくして企業の存続なし」と肝に銘じ、チームNTTの顔として、前向きに、そして自ら行動します。



NTT千葉グループ企業理念

私たちは、常に未来に目を向けながら、最高の技術を持って、お客さま一人ひとりに最適なコミュニケーションサービスを提供することで、豊かな千葉の実現に向け貢献する企業であり続けます。

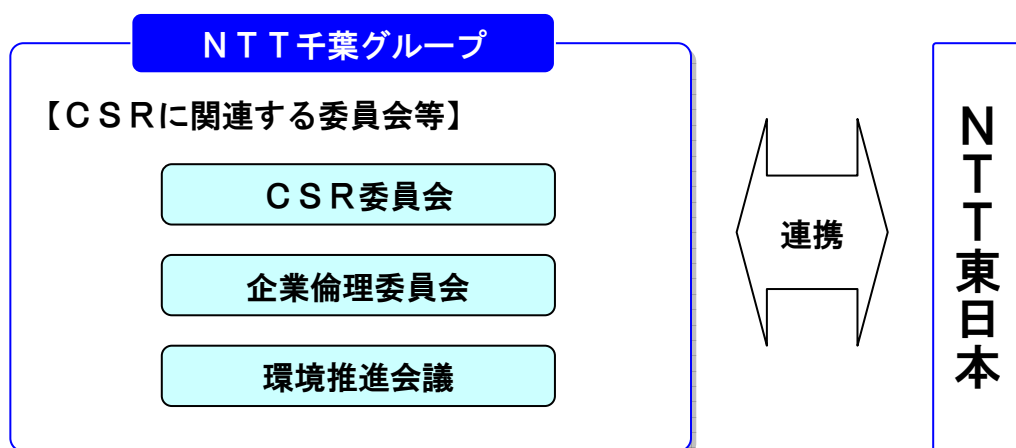
NTT千葉グループ行動指針

1. 総ての仕事はお客さまのため。一人ひとりが迅速、親切、丁寧に。
2. プロ意識を持ち、自ら考え、責任を持って行動しよう。
3. 成長しよう 会社と自分の未来のため。チャレンジしよう 自らの成長のため。
4. いますぐとりかかろう。創意工夫とフットワークで。
5. 社員の技術・知識・知恵をぶつけ合って、新たな価値の創造に挑戦しよう。
6. お客さまのプライバシーと会社の信用を守ろう。
財産である情報を扱う責任と自覚を胸に。

CSRマネジメント

■CSR推進体制

NTT千葉グループにおいては、「企業としての社会的責任を果たし、社会の持続的な発展に貢献していく」とのCSR経営の基本的考え方のもと、CSR活動を推進することを目的に千葉支店長／社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、CSRに関する取り組みを展開しています。



■CSR推進に向けた取り組み

各委員会については、原則として半期に1回開催し、それぞれの年間計画の策定、取り組みの進捗状況のチェック、および現状をふまえた新たな取り組みなどを検討しています。

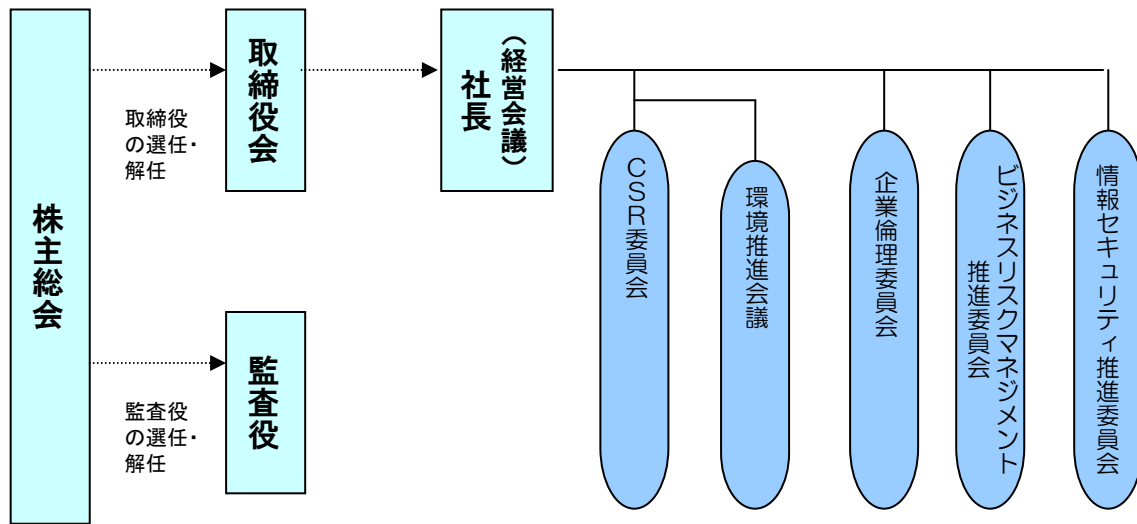
また、経営幹部への研修、階層別研修、およびすべての従業員を対象としたeラーニング研修の実施など、CSRに関する理解の促進や意識の向上に向けた取り組みを継続的に実施しています。

コーポレートガバナンス

■取締役会の構成

株式会社NTT東日本-千葉は、NTT東日本100%出資子会社として、千葉県内におけるNTT東日本の電気通信設備等の構築、保守、管理等の受託業務等を実施しております。

NTT東日本-千葉は7名の取締役による取締役会を構成し、原則月1回取締役会を開催し、法令等に則り、会社経営の重要な業務執行の決定、ガバナンス体制の構築等を行っています。



■監査役監査

監査役は、NTT東日本業務監査室等との連携を図り、業務監査、内部統制システム監査、会計監査により、取締役の職務の執行等を監査しています。

■業務監査室監査

NTT東日本業務監査室により、毎年、リスク評価に基づき選定されたビジネスリスク軽減のための会計・契約監査およびコンプライアンスの徹底に向けた監査として会社法、景品表示法等に関する監査を実施するとともに、個人情報保護法および環境保全活動の推進状況等についても継続的に監査を実施しています。

リスクマネジメント

NTT千葉グループは、事業運営上のビジネスリスクに迅速かつ的確に対応し、事業活動および社会に及ぼす影響を最小限に抑えるため、２００８年度に「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置しました。

さまざまなビジネスリスクへの対応に万全を期すことができるよう、予防対策や情報共有の迅速化などを充実させていきます。

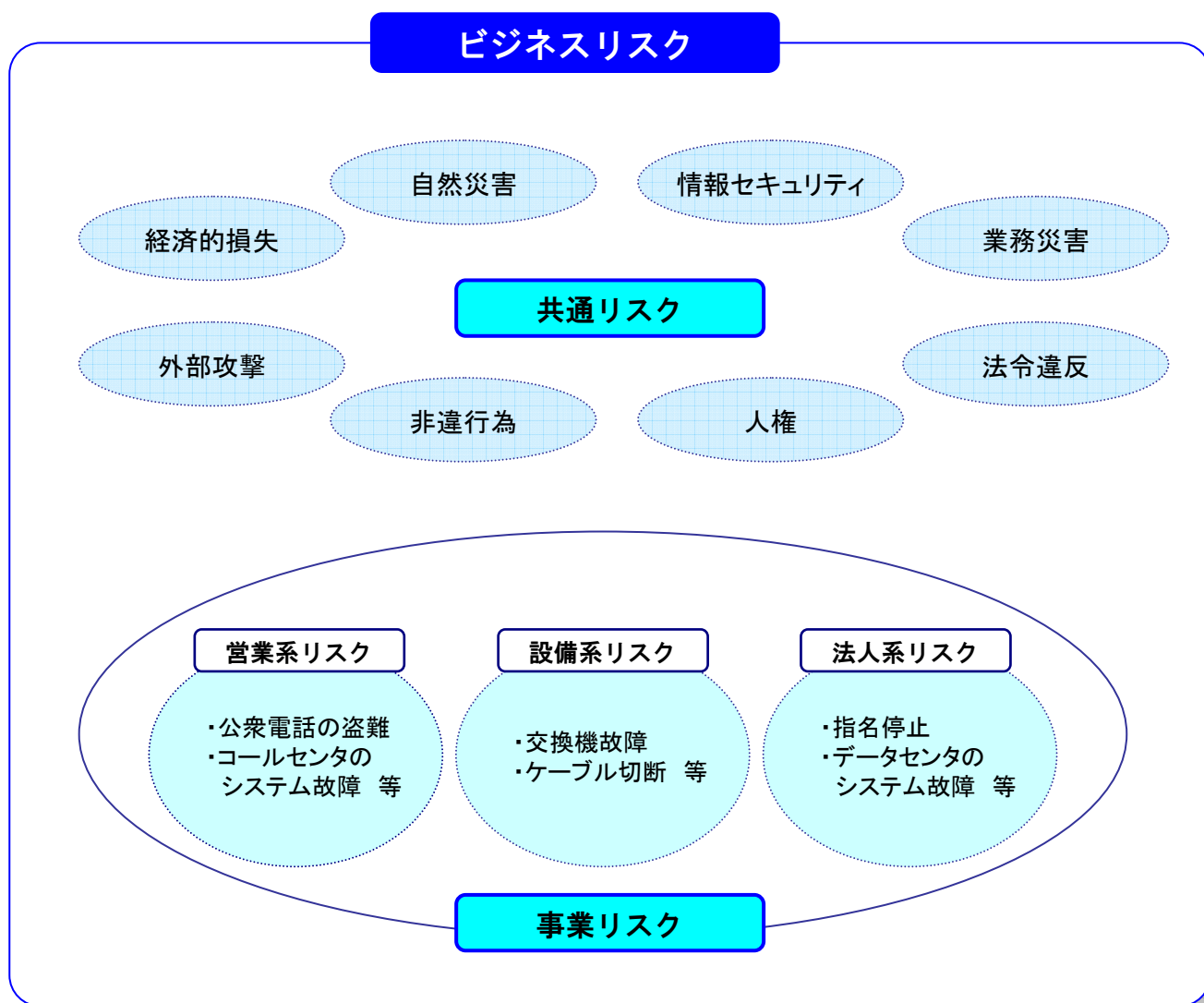
■ビジネスリスクマネジメントの取り組み

２００８年度以降、危機管理体制を整備するとともに、①事件・事故等の情報共有の迅速化の徹底、②さまざまなビジネスリスクへの対応力の強化、③事件・事故等の未然防止に向けた取り組みの展開を３つの柱として、業務運営基盤の強化に向けてさらなるリスクマネジメントの強化に努めています。

■今後の取り組み

２０１０年度は、社会環境や事業環境等の変化などにより、多様化するリスクに適切に対処していくため、BCP（事業継続計画）の策定に向けた取り組みを展開していきます。

これらの取り組みにより、さまざまなリスクの予防や直面するリスクへの迅速かつ的確な対応を強化していきます。



人権啓発

■人権啓発活動

人権啓発活動の一環として、NTT千葉グループにおける人権意識の高揚と人権に対する理解と認識を深めることを目的として、夏休み期間中の約1ヶ月半にわたり、社員（契約社員、派遣社員を含む）及び家族を対象に標語およびポスターを募集しました。

募集・応募の概況については、次のとおりです。

□ 募集期間：2009年7月21日（火）～8月31日（月）

□ 応募作品数： 標語 2,481点
 ポスター 22点

優秀作品

《標語の部》

□NTT東日本本社 優秀賞

人からもらったやさしい言葉 私も誰かにあげたいな
海老原 多恵 （NTT東日本一千葉 設備部）

受賞者のコメント

この度は優秀作品に選んで頂き、本当にありがとうございました。
私は日々の生活の中で「相談してよかった」「手伝ってもらって助かった」など感謝することが度々あります。
そんな折、お世話になった人々へのお礼の気持ちを抱くとともに、私自身も感謝される様になれば、そして感謝される様なことをしなければと常々思っています。全ての人が「ありがとう」と感謝の気持ちが行き交う世の中になったらと願いをこめてこの度の標語を応募させていただきました。

□NTT千葉グループ 優秀賞

明るい挨拶 あげよう笑顔 差別なくして 明るい社会
奈良岡 篤嗣 （NTT東日本一千葉 営業部）
持たない差別 持つなら優しさ なくそう偏見 護ろう人権
清水 政美 （NTT東日本一千葉 営業部）
小さな勇気の積み重ね 大きな笑顔の広がり
田村 理代 （NTT東日本一千葉 営業部）

《ポスターの部》



笹田 京子
（NTT東日本-千葉 営業部
木更津営業所）



金高 瑠奈
（NTT東日本-千葉 設備部）



赤坂 真甫さん
（NTT東日本千葉支店
社員家族）



石毛 杏奈さん
（東日本-千葉 設備部
社員家族）

安心・安全な社会のために 災害対策の取り組み

NTT千葉グループは、情報通信サービスの早期復旧のため、大規模な災害を想定した訓練を実施しています。平時からのたゆまぬ訓練を通じて「つなぐ」使命を全うしていきます。

■大規模災害・大規模故障を想定した実践的演習

2009年5月28日（木）、千葉県東方沖地震（震度6弱）が発生し、通信設備に甚大な被害が発生したことを想定し、特に初動体制の検証を重点に緊急システムの運用、本部員の第二駆付けビルへの参集、被害状況の把握等についての検証を実施しました。

具体的な検証内容については、次のとおりです。

- (1) 地震発生直後の「緊急連絡システム」による本部員への集合指示
- (2) 「情報案内サービス」による本部員への情報配信
- (3) 災害対策本部への集合および災害対策本部の立上げ
- (4) 被災状況の把握
(ENC・第二駆付け本部員・FS・NWS・通信ネットワーク隊)
- (5) お客様申告状況の把握(重要ユーザ、重要回線等)
- (6) 応急復旧作業の計画、資機材、要員の確保
- (7) 社員安否確認の実施
- (8) 報道対応等



また、2010年3月5日（金）には、首都直下地震による所内系設備の重大故障を想定した演習を実施し、故障回復へ向けた情報配信によるお客さま対応、設備対応等の迅速な早期回復を目指した演習を行いました。その他八都県市合同防災訓練など、さまざまな訓練を通じて、「つなぐ」使命を全うしていきたいと考えています。

■災害対策活動

2009年9月1日（火）・5日（土）に実施した八都県市合同防災訓練をはじめとする各市町村や自治体等の主催による防災訓練や防災フェアにおいて、災害対策機器等による臨時電話回線の構築や特設公衆電話の設置など、応急復旧訓練を実施しました。

また、会場に設置した「災害用伝言ダイヤル171」の利用体験コーナーにおいては、パンフレットを配布し使い方を説明するとともに、実際にこのサービスを体験していただき、災害時の安否確認方法を広く知っていただきました。



この他、千葉日報社主催の「防災座談会」に参加し、防災関係者や他のライフライン関係機関とともに、災害に対する日頃の取り組みなどを発表しました。NTT千葉グループとして、地震災害に対する対応策や情報収集、ならびに被災時のライフラインの確保・復旧・防災対策等のアドバイスをを行いました。今後も、このような活動を通じて社会の安心・安全に貢献していきたいと考えています。

安心・安全な社会のために 災害対策の取り組み

■通信レスキューバイク隊

千葉グループにおいては、1995年の阪神淡路大震災を教訓に、大規模災害等が発生した際、電気通信設備に関わる被災状況等の情報収集を行うとともに、社員等の安否確認や物資の搬送等を行うことを目的に、「通信レスキューバイク隊」を1996年に発足し、活動しています。

2009年度は、第30回八都県市合同防災訓練（千葉県会場・千葉市会場）をはじめ、各自治体等が主催する防災訓練に参加し、被災状況の調査の模擬走行や電気通信設備の早期復旧を目的とした情報収集活動を実施しました。

また、バイク車両や訓練模様のパネル等を展示し、来場者の理解を深めるような取り組みを実施しました。

なお、二輪車の技能を高めるため、「ベストライダーコンテスト」にも積極的に参加し、「第39回二輪車安全運転千葉県大会（一般Aクラス）」で第2位、「第42回二輪車安全運転全国大会（一般Aクラス）」で第6位でした。

今後も災害時における確実な任務遂行をめざし、日々訓練に励むとともに、地域社会と連携した活動を展開していきます。

□参加した主な防災訓練等

- ・自衛隊との共同訓練（陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊）
- ・第30回八都県市合同防災訓練（千葉県会場・千葉市会場）
- ・夏休み子ども防災展（国土交通省 船橋防災センタ）
- ・鎌ヶ谷市総合防災訓練
- ・我孫子市総合防災訓練
- ・高等学校や一般ライダーへの安全運転指導



□社員のコメント

NTT-ME 千葉事業所 千葉NWS担当 森 悟

八都県市合同防災訓練に参加し、災害時に孤立した被災地の通信確保、避難場所への特設公衆電話の設置など、私たちが果たす役割の重要性を再認識しました。

今後も、災害時に迅速かつ的確に対応できるよう、心新たにしました。

安心・安全な社会のために

情報セキュリティの確保

NTT千葉グループでは、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティの確保に向け、さまざまな取り組みを行っています。

■個人情報保護に向けた取り組み

2007年7月9日、NTT東日本の地域会社として初めてプライバシーマークを取得しました。取得後も日本工業規格JISQ 15001：2006「個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に基づき、個人情報保護体制の整備及び適切な個人情報の取扱いを推進しています。

なお、2009年度は、7月9日に更新審査を完了しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制

お客様情報・他事業者様情報をはじめとする情報セキュリティ管理については、支店長／社長を委員長とする情報セキュリティ推進委員会を中心に、全役員、社員等を対象とした研修・啓発活動などを行い、情報セキュリティの確保を積極的に推進しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策

お客様情報、他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理に対する社会的要請を十分に認識し、適正な取扱いを推進していくことが、公共性を有する通信事業者としての重大な社会的責務と考えております。

その責務を十分果たすとともに、安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理のために、次の取り組みを行っています。

- 情報セキュリティに関する行動指針の策定
- 社員意識の向上と管理体制の強化
 - ・情報管理啓発員への研修会の実施
 - ・全社員（派遣社員等含む）への啓発・教育活動
 - ・全社員（派遣社員等含む）による自己点検・自主点検の実施
- 委託会社及び人材派遣会社の管理強化
- システムセキュリティの強化
 - ・社内LAN端末からの会社情報等の書き出し制限
 - ・電子記憶媒体の利用制限
 - ・社外持ち出し端末の必要最小限化 等

地球環境を守るために 環境マネジメント

～「つなぐ。それは、E C O」～

「N T T 東日本地球環境憲章」に基づき、千葉支店グループの活動、製品、サービスにかかわる地球環境保護及び管理活動に関する環境方針を定め、定めた適用範囲の中で環境保全、予防活動を継続的に推進しています。

■ N T T 東日本千葉支店グループ環境方針

基本理念

N T T 東日本千葉支店グループは、地球環境の保全が 人類共通の最重要課題の一つと認識し、自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、よりよい企業活動を目指します。

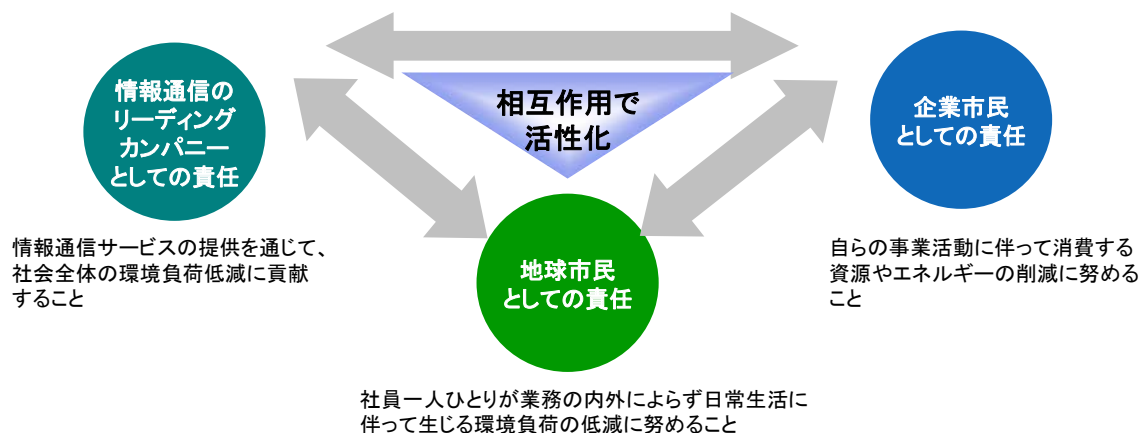
基本方針

N T T 東日本千葉支店グループは、「N T T 東日本地球環境憲章」に従い、千葉県内において新たな価値と可能性を持つ優れた情報流通サービスの提供を通し、地域の環境保全に貢献するため、以下の方針に基づき環境マネジメントを推進します。

1. 情報流通サービス事業にかかわる環境側面を考慮し、以下の点を重点に取り組みます。
 - 1) 環境に配慮したシステムとサービスの提供による通信分野でのエネルギー消費低減、資源の有効活用
 - 2) 電気通信設備の設置、運用に際しての資源リサイクルと廃棄物処分量削減
 - 3) 事務業務に伴う環境負荷の低減と環境配慮型商品購入による省資源活動の推進
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防をはかります。
3. 国、地方自治体の環境規制及び当支店グループが受け入れたその他の要求事項を順守します。
4. 環境方針に沿った目的及び目標を設定し、必要に応じ見直します。
5. 地域の環境保護活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します。

■ 環境経営の3つの柱

N T T 東日本グループは3つの柱を軸に環境経営を推進しています。1つめの柱は、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に貢献すること。2つめの柱は自らの事業活動に伴って発生する環境負荷の低減に努めること。3つめの柱は社員一人ひとりが業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷の低減に努めることです。

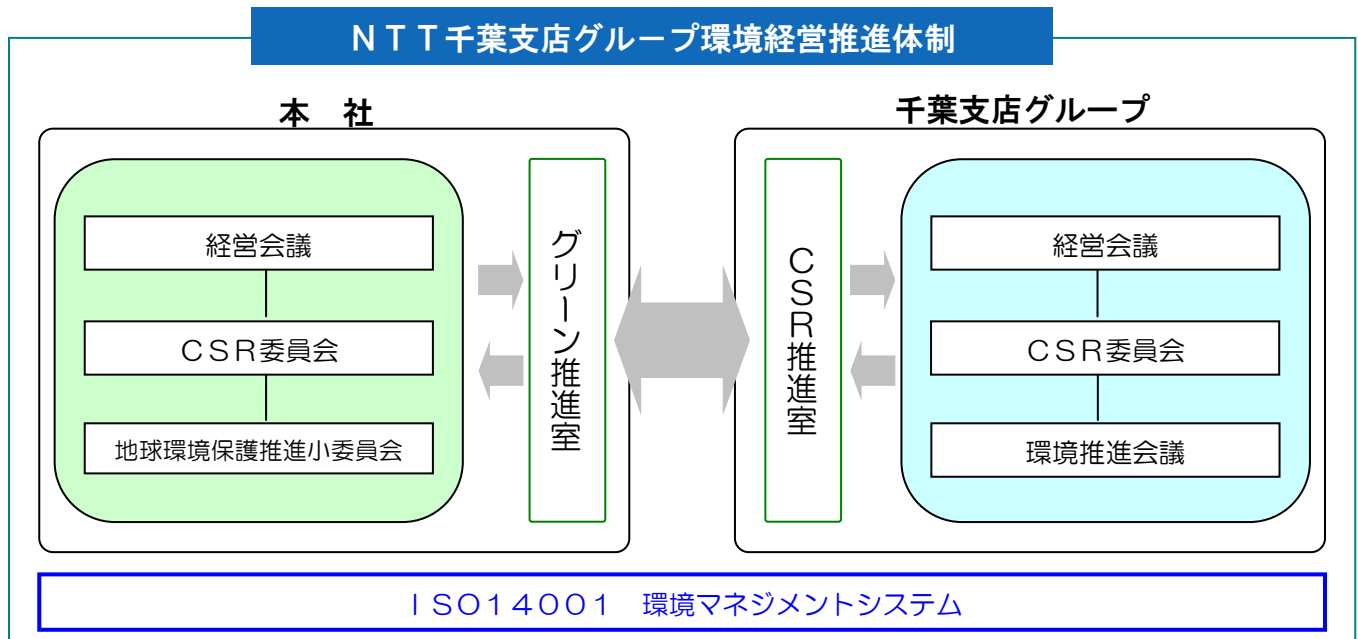


地球環境を守るために 環境マネジメント

■NTT東日本千葉支店グループ環境経営推進体制

NTT東日本千葉支店グループは、環境負荷低減に向けた取り組みを推進するため、「環境推進会議」を設置し、「NTT東日本千葉支店グループ環境方針」の策定・見直しや環境負荷低減目標である「環境保護推進アクションプログラム」を策定し、継続的な改善を図っています。

また、「環境保護推進アクションプログラム」の取り組みについては、本社と連携を図りつつ、取り組みを進めています。



■ISO 14001 環境マネジメントシステム

法規制の遵守やCO2削減等の環境負荷低減に向けた運用対策を各組織で徹底するため、ISO 14001を用いた環境マネジメントシステムの構築・運用に取り組んでいます。

2010年度には千葉支店グループの社員カバー率100%をめざしています。

■社員教育

環境問題に対して社員一人ひとりが自ら考え、行動することを目標に全社員を対象として環境教育を実施しています。

環境教育にあたっては、①全社員向け研修、②核要員養成に向けた研修、③経営層向け研修に階層化して実施しています。

地球環境を守るために

環境負荷低減に向けた取り組み

N T T千葉グループでは、環境負荷低減に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

特に環境への影響が大きい要素に対する主要行動計画目標（基本プログラム）については、詳細プログラムとして実行すべき管理項目を細分化して、取り組みを進めています。詳細プログラムの一つひとつの確実な取り組みが全体目標の達成に結び付きます。

また、主要行動計画目標（基本プログラム）の他にもさまざまな環境負荷低減プログラムについて同様に取り組んでいます。

■主要行動計画目標（基本プログラム）と詳細プログラム

主要行動計画目標 (基本プログラム)	実行管理 項目	詳細プログラム	管理指標	2009年度 実績	評価	2010年度 目標
温暖化対策	電力	TPR運動の推進	※1 CO ₂ 排出量	58296t-CO ₂	—	59855t-CO ₂
	ガス・燃料	ガス・燃料の使用量の節減（灯油・A重油、LPG、都市ガス）	CO ₂ 排出量	240t-CO ₂	—	240t-CO ₂
	業務用車両	自動車からのCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量	1602t-CO ₂	—	1493t-CO ₂
紙資源対策	事務用紙	事務用紙の使用量削減・環境に配慮した紙材料の使用	紙使用量	一人あたり紙使用枚数 8500枚	—	一人あたり紙使用枚数 8448枚
廃棄物対策	オフィス内	オフィス内廃棄物の削減と適正処理	オフィス内廃棄物最終処分量	オフィス廃棄物の最終処 分率1.03%	—	オフィス廃棄物の最終処 分率を前年度以下とする (前年度1.03%)

※1 電気購入量からCO₂への換算係数は電気事業者連合会が公表している目標値である「2008～2012年度平均0.34kg/kWh」を使用しています。

地球環境を守るために 環境貢献活動

■NTT東日本グループ「アクトグリーン21」

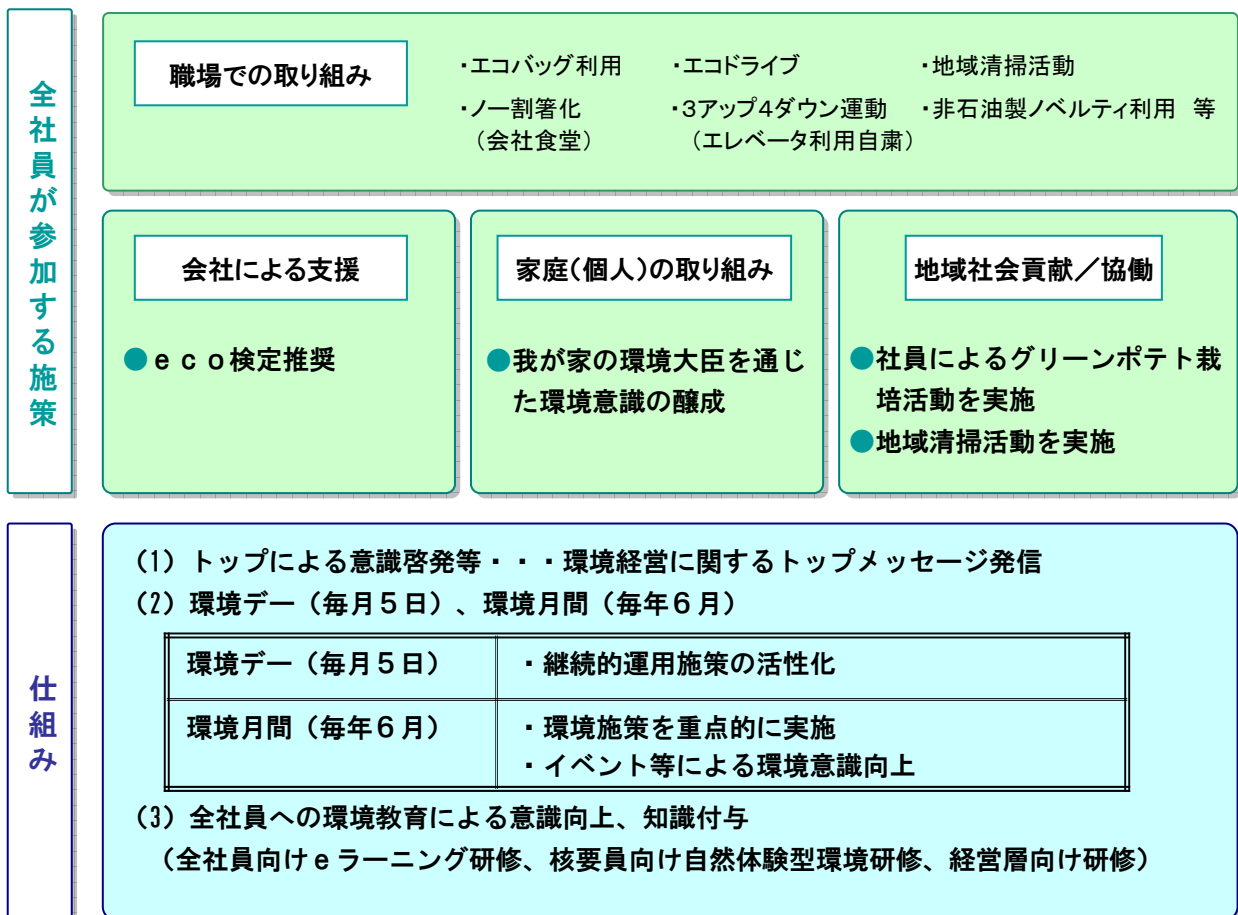
美しい地球を未来に「つなぐ」ために、私たちが果たすべき役割は大変に大きいものがあります。「情報通信のリーディングカンパニーとしての責任」と「企業市民としての責任」をはたしていくためには、社員一人ひとりの環境意識を高めていくことが重要です。

NTT千葉グループにおいては、これまで行ってきた職場での取り組みの徹底を図るとともに、社員の環境意識をさらに高めることを目的に「アクトグリーン21」を展開しています。

社員の環境意識を高めて持続的な環境活動を推進していくために、２００９年度は「我が家の環境大臣への登録」、「eco検定受験」、「地域清掃活動への参画」などさまざまな取り組みを行ってきました。

NTT千葉グループにおいては、「我が家の環境大臣」へ1,843名が登録（2010年8月末現在）、「eco検定」には90名が合格しました。（2009年度）

これらの取り組みは、今年度も継続して推進しています。



地球環境を守るために 環境貢献活動

■水辺クリーンキャンペーン

社員の自然環境保護に対する意識高揚と、地域の美しい自然を守り、地域の皆様が気持ち良く暮せる生活環境作りをめざし、NTT千葉グループによる社会貢献活動の一環として、社員等および家族のボランティアによる海岸の清掃活動を実施しています。

2009年10月17日（土）、稲毛海浜公園「いなげの浜」において、NTT千葉グループの社員等および家族421名が参加し、約1kmにわたる海岸に廃棄・漂着したプラスチックやビニールなどの不燃物を拾い集め、クリーンで安全な海岸の再生に取り組みました。



参加企業等

- | | | |
|---------------------|-------------|--------------------------|
| ・NTT東日本千葉支店 | ・NTT東日本一千葉 | ・NTT東日本コンシューマ事業推進本部千葉センタ |
| ・日本カーソリューションズ | ・NTTロジスコ | ・NTTソルコ |
| ・NTTフアシリティーズ中央 | ・NTTファイナンス | ・NTTインフラネット |
| ・NTTアクセスサービスシステム研究所 | | ・アイ・エス・エス |
| ・NTTME | ・NTT東京電話帳 | ・NTTMEサービス |
| ・テルウェル東日本 | ・和興エンジニアリング | ・大明 |
| ・東電通 | ・池野通建 | ・コミーチュア |
| ・日本コムシス | ・日本メックス | ・日比谷同友会 |
| ・電友会千葉支部 | の社員・会員及び家族 | |

■NTT 祐光ビルの屋上緑化

NTT千葉グループでは、NTT祐光ビル屋上の空きスペースを利用し、地球温暖化や都市型豪雨などの原因になっていると言われていたヒートアイランド現象の緩和、ならびに周辺地域の環境改善を目指し、サツマイモ水気耕栽培システムによる屋上緑化に取り組んでいます。

グループ会社社員自らがサツマイモの栽培管理にあたり、社員の環境保護意識の向上に努めています。サツマイモは、一般的な緑化に使用される芝生やセダ



ム等に比べ葉が大きく、高さも40～50cmあり幾重にも重なり合うため、建物への直射日光を遮り建物の蓄熱を低減させるとともに、蒸散作用により周囲の空気を冷やす効果があります。

2009年の収穫時には千葉市にある保育園児を招き、大きく育ったたくさんのサツマイモを元気いっぱい掘り起こし、園児たちは大変喜んでいました。また、収穫したサツマイモの一部と刈り取ったツルを千葉市動物公園飼料として提供しました。



人と社会のために

お客さま満足度（CS）向上

NTT千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざし、お客さま満足度（CS）向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。

■スマイル活動（スマイル委員会）

NTT千葉グループでは、お客さま満足度（CS）向上を目的に、スマイル活動を実施しています。スマイル活動とは、お客さまや社員から寄せられたご意見・ご要望に対して、事業を改善して行く活動です。お客さまからのご意見・ご要望については、「千葉スマイル委員会」にて審議し、千葉管内で改善施策を実施しますが、NTT東日本の商品や、サービスに対する改善等の内容については、NTT東日本へ意見提起し、全社的な改善施策の検討を依頼します。

「千葉スマイル委員会」開催状況については次のとおりです。

■2009年度（4月～3月）「千葉スマイル委員会」活動状況

開催回数 ： 5回
主な審議内容 ： お客さまや社員から寄せられた改善要望等

●千葉より意見提起し、NTT東日本全体で改善された案件

- ・お客様要望 ： 「利用休止のお知らせ」に「重要」の表記をつけて欲しい
- ・実施事項 ： 2010年4月19日の発送分より、「利用休止のお知らせ」の文面について「重要」の表記を記載するなどの変更を行いました。

※「利用休止のお知らせ」案件につきましては、NTT東日本の公式ホームページでも掲載しております。

URL： <http://www.ntt-east.co.jp/smile/>

人と社会のために

次世代につなぐ取り組み

インターネットや携帯電話を使う小中学生が増え、メールのやり取りなどに伴うトラブルが社会的な問題となっています。トラブルを未然に防ぐには、児童・生徒自身のコミュニケーションの仕方などメディアリテラシーの向上と、保護者・教職員による保護・教育が求められます。

NTT千葉グループでは、このような社会的要請にお応えするために、次のような施策にスキルを有するボランティア社員を派遣し、ネット安全の啓発に取り組んでいます。

■「ネット安全教室」による安全啓発

- 主 催：NTT千葉グループ
- 対 象 者：小学生高学年
- 主な内容：①メールを通じたコミュニケーション
②チェーンメールとブログ、掲示板の注意点
③ネットで調べ学習する時の注意点 等
- 活動実績：11回開催、延べ682名受講

■「e-ネットキャラバン」による安全啓発

- 主 催：総務省、文部科学省 等
- 対 象 者：保護者及び教職員
- 主な内容：児童・生徒を保護・教育する立場にある保護者及び教職員の方々に対して、インターネットの安心・安全利用に関する啓発を行い、インターネット利用の適切な推進を図る。
- 活動実績：2回開催、延べ157名受講



人と社会のために 次世代につなぐ取り組み

NTT千葉グループは、次代を担う子どもたちとの交流を通して、心豊かなICT社会や未来づくりに取り組んでいます。

■「第60回 NTT児童画コンクール」

千葉県内の小学生の皆さんに、絵を描くことを通じて電話やインターネットなどの電気通信の世界を身近に感じていただくとともに、絵画学習や文化振興の活性化を支援するところを目的に毎年開催しています。本コンクールは1950年にスタートして、2009年で60回目の開催となりました。審査会では、7名の審査委員が、表現技術や構図、色使いなどに優れた作品を選び、千葉県知事賞など特選1点と、入選18点、佳作60点が選ばれました。

- コンクール
 - 募集期間：2009年6月中旬～9月中旬
 - 応募校：376校／応募数：3,453点
- 展示会（入選作品を展示）
 - NTT東日本千葉支店フレッツショールーム
2009年11月16日～11月27日
 - 千葉県青少年女性会館
2009年12月2日～1月6日
 - Qiball（きぼーる）
2010年1月10日～1月15日

【千葉県知事賞】



大谷 春菜さん（千葉市4年）の作品
「夢のみらいへつながる電話
インターネットの世界」

【千葉県教育長賞】



土屋 郁乃さん（山武市1年）の作品
「ねこねこでんわ」

■つながるおしごと見学会

安心・安全に暮らせるために、事業理解の促進、地域への社会貢献活動の一環として、「つながるおしごと見学会」を開催しました。

このイベントでは、電話・インターネットがつながるしくみを学び、通信ネットワーク設備（とう道や高所作業車等）を見学・体験し、インターネットの楽しさを体験しながら安全に使いこなすためのルールやマナーについての学習も実施しています。



高所作業車の体験乗車



とう道の見学

【社員のコメント】

NTT東日本ー千葉
総務部 広報担当
長谷川 孝幸

「次世代につなぐ企業活動」として、お客様モニター活動を発展させ、H21より「つながるお仕事見学会」を実施。県下の親子を対象にした施設見学会。CS向上に努め、設備部門スタッフ参加による働く誇り・ES向上にも努めています。

□参加者数：812名

□実施場所：NTT東日本千葉支店フレッツショールーム

□実施月日：2009.4.25、5.2、7.24、7.25、7.31、8.1、8.2
2010.3.25、3.26、3.27、4.2、4.3

人と社会のために

技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～

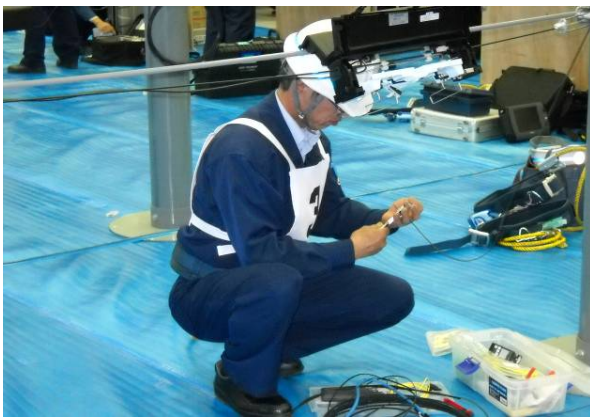
NTT千葉グループは、技術力向上と技術力を次代につなげるためにさまざまな取り組みを行っています。

■チバリンピック

故障修理者の技術スキル向上を目的として、持ち前の腕を競い合う大会「チバリンピック」を開催しています。「チバリンピック」は、日常業務の一環である「故障修理をどれだけ早く・正確に回復させるか」、「お客様に満足していただける対応が出来るのか」などをチーム形式で競い合う大会です。

2009年度は、2010年1月15日（金）にNTT幕張ビル25階を会場として各エリアの代表者16名が参加し開催されました。

今後もこれらの取り組みを実施することで、技術力を高め、お客さまに選ばれ続ける企業をめざします。



不良箇所を探索中



各チームに別れ、作業開始



修理内容等をお客様へ説明

優勝者のコメント

「私たちはお客様に選ばれ続けるためには」をモットーに日々、お客様対応力の向上や技術スキルの向上に向け、社員一丸となり切磋琢磨しております。

チバリンピックの優勝に関しても、お客様第一主義をモットーに迅速・親切・丁寧な対応を心掛けた結果だと思っております。

今後も更なる取り組みを実施し、お客様サービス向上に寄与していきますので、よろしくお願いします。

これからも安心・安全な通信を提供していくために、日頃から技術力の向上、マナー、秩序を守る事を心がけ、お客様から信頼されつづける会社になれるよう努力してまいります。



優勝者：NTT東日本ー千葉 設備部
京葉FS第3サービス担当
小野 幸助・杉本 充

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

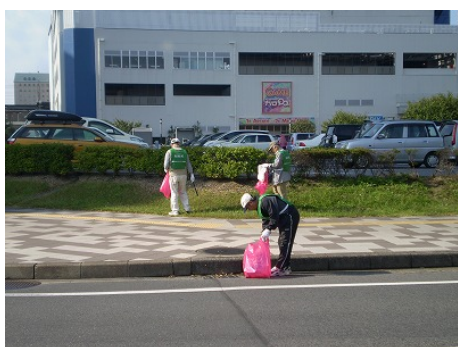
NTT千葉グループは、地域社会の一員として「良き企業市民」をめざし、自治体や企業等と連携して継続的かつ積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

■地域社会における環境美化活動

NTT千葉グループでは、地域企業等との連携や社員のボランティア活動を通して、地域の美化活動に積極的に参画しています。

●幕張新都心まちづくり協議会

幕張新都心にオフィスを置く企業が、快適な都市環境を形成・保全し、新しいまちづくりを会員が協力して推進することを目的に平成2年2月に設立されました。「電波障害部会」「業務地域部会」及び「商業地域部会」で構成され、幕張新都心地区の清掃（年2回）及び国際大通りに設置されているプランターの花苗の移植（年2回）を実施しています。



幕張新都心地区の清掃活動



プランターの
花苗の移植



●千葉駅前オフィス町内会

千葉駅前にオフィスを置く企業が、企業の社会的責任として環境問題を考え、地域社会に貢献することを目的に平成4年2月に設立されました。

「環境美化部会」と「古紙回収部会」で構成され、オフィスから排出される紙資源のリサイクル及び千葉駅前大通りの清掃（毎月1回）を実施しています。



千葉駅前オフィス町内会の清掃活動

●地域清掃活動

自治体主催等の清掃活動に各営業所の社員・家族がボランティア参加し、地域美化活動に取り組んでいます。

主な地域清掃活動

自治体	実施日	活動内容
市川市	2009.5.31	江戸川河川敷周辺の清掃
船橋市	2009.11.15	天沼弁天池公園周辺の清掃
松戸市	2009.12.6	新松戸駅周辺の清掃
木更津市	2009.8.25	矢那川周辺の清掃
各営業所	毎月	NTTビル周辺の清掃

チームNTTの取り組み 地域社会への貢献

■企業消防団活動

NTT千葉グループでは、良き企業市民として地域社会へ貢献するため、2009年4月17日に千葉県内初の企業消防団を発足しました。また、企業消防団としては全国で初めて小型ポンプ車が千葉市から貸与され、現在も定期的に消防訓練を実施しています。

今後は地域に密着した消防活動を通じ、安心・安全なまちづくりに貢献していきます。

□団 員 数：8名（2010年8月現在）

□活動エリア：千葉市美浜区中瀬地区



■NTT東日本ボランティアギフトプログラムの実施

NTT東日本ボランティアギフトプログラム（以下「ボランティアギフト」という。）は、社会福祉・自然環境保護・子どもの健全育成の分野で長期に渡ってボランティア活動を継続している社員を対象に、その活動先の施設等に物品を寄贈するというプログラムです。

2009年度は、成田サッカースポーツ少年団へ、サッカー用ユニフォームを贈呈しました。今後も、ボランティアギフトを通じて、健全な地域社会の発展へ貢献して行きます。



□贈呈月日：2010年5月22日

□贈呈団体：成田サッカースポーツ少年団

□寄贈：サッカー用ユニフォーム

□実施場所：成田SSS練習グラウンド

□該当社員：設備部 IPエンジニアリングセンタ
HIKARI-SC担当主査
白旗義則



【社員のコメント】

今回ボランティアギフトに選ばれ、我がクラブでは団長初めコーチや父母会一同大変感謝しています。子供の健全育成を目標に活動し始めあつと言う間の18年、体が続く限り今後も子ども達と楽しくサッカーをやって行きたいと思います
本当にありがとうございました。

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

■「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈

耳や言葉の不自由な方々が、円滑に用件や連絡を伝えることをお手伝いをするための２００９年版「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」それぞれ約１万部を、千葉県健康福祉部を初め、県内市町村の福祉課や福祉関係機関、大型スーパー等へ寄贈いたしました。

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方々が外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくもので、「私のかわりに電話をかけていただけますか」などのお願いカードや、複数の依頼内容（緊急・お願い・電話）などが掲載されています。この手帳は、昭和５８年に千葉県の流山電報電話局（当時）で誕生し、今年で２８回目の発行となります。

また、「ふれあい速達便」は、耳や言葉の不自由な方々のコミュニケーション手段として利用が増えているファクスの送信用紙を冊子にしたもので、平成２年に誕生しました。



電話お願い手帳（左）とふれあい速達便（右）

■「NTT千葉 年末チャリティーバザー」の開催

２００６年から新たな社会貢献活動として始めたチャリティーバザーは２００９年で４回目となりました。今回は、昨年１２月１９日（土）にNTT東日本千葉支店フレッツショールーム（千葉市富士見）で開催しました。

バザー当日は、開場前から行列が出来るなど市民の皆様に多数ご来場いただき、前回に引き続き盛況のうちにバザー品が売り尽くされました。

なお、当日の収益金約１９万円につきましては、福祉活動に役立てていただくため、千葉県社会福祉協議会へ贈呈いたしました。



■校外臨床実習生の受け入れ

NTT千葉グループでは、２００９年４月から１２月の期間、千葉県立千葉盲学校の臨床実習生７名を受け入れ、理療施術者としての技術の向上と資格取得に貢献しました。

千葉県立千葉盲学校では、学習指導要綱にもとづき、理療施術者として資格を取得するために校外臨床実習が必須であることから、近隣（四街道市）企業等に協力を求めていましたが、受入れ期間が長期のため、受入れ可能な企業も少なく受入れ先の選定に苦慮していました。こうした状況から、千葉市内の企業等へも受入れの打診がなされ、NTT千葉グループにおいて、地域社会への貢献活動の一環として、実習生を受け入れました。

毎週金曜日に、実習生が社員に対して一人３０分程度の「あん摩・マッサージ・指圧」等の施術を実施し、技術力の向上を図りながら社員とのコミュニケーションを深めました。

実習生の丁寧な問診や施術により、社員も安心して施術を受けることができたこと、および盲学校の実習生とのふれあいを通じて、地域社会へ貢献していくことの大切さを深く実感することができました。

なお、この取り組みは２０１０年度も継続して実施しています。

チームNTTの取り組み

働く社員の安全・健康増進

NTT千葉グループは、社員一人ひとりの能力を最大限発揮できるよう、安全や健康管理など、さまざまな面から、社員をサポートしています。

誰もが安心して働くことのできる職場環境の充実に取り組んでいます。

■労働安全衛生の水準の向上に寄与する取り組み

●事故「ゼロ」に向けた取り組み

NTT千葉グループは、パートナー企業とも一体となり、事故「ゼロ」に向けた安全管理体制の強化に取り組み、だれもが安心して働くことのできる安全な職場環境の充実に取り組んでいます。

2009年度は、交通法規及び交通動画KY（危険予知）等の講習により一般路上に潜む危険を事前に察知できる能力を身につけさせるとともに、地域特性に応じた一般道路における運転技術診断を行い、自己の運転操作の癖・誤った知識を再認識させました。

また、本講習に心肺蘇生法（AED操作）の実技も取り入れ、緊急時に対応できる人材の育成にも取り組みました。

□ 活動実績 12コース12回 184名参加

●健康教育の充実による社員の健康・衛生意識の向上

社員の健康管理については、「自らの健康は自らが守る」ことを前提とした健康意識の醸成や安心して働ける健全な職場環境の形成等に向け、職場・地域実態を踏まえた諸施策を継続的に展開し、社員の健康意識の向上に努めています。

2009年度においても、社員の疾病の未然予防、早期発見・早期治療の観点から、①新型インフルエンザをはじめとする感染症予防に向けた各種対策の推進、②過重労働による健康障害防止対策の徹底、③社内外の健康相談窓口の浸透・定着化、④健康管理スタッフを活用した積極的な健康教育、等を実施しました。

□ 活動実績（千葉健康管理センタ出前健康セミナー）24セミナー

●メンタルヘルス教育の実施によるメンタルヘルス不調の予防・早期発見・フォロー

社員の心の健康を守るため、メンタルヘルス対策の取り組みを推進しています。

2009年度については、①職場・健康管理スタッフが一体となったメンタルヘルス問診の実施、②ラーニングプラットフォームを活用した「メンタルヘルス応用講座」の実施、③「NTT東日本グループなんでも相談ダイヤル」のサービス内容の拡充および職場・社員への浸透・定着化、④階層別メンタルヘルス講習会（新入社員、課長代理・主査、転入管理者等）等を展開しました。今後もメンタルヘルス不調の予防・早期発見・フォローに努めてまいります。

□ 活動実績（階層別メンタルヘルス講習会）

- | | | | |
|----------|-------|----|--------|
| ・新入社員 | 1コース | 1回 | 40名参加 |
| ・課長代理・主査 | 4コース | 4回 | 213名参加 |
| ・転入管理者等 | 半日コース | 1回 | 26名参加 |

●成人病予防（運動の促進）対策

生活習慣に起因する疾病予防のため、成人病予防（運動の促進）対策の取り組みを推進しています。

2009年度においては、リハビリの専門医師を講師とした講演と体力測定を行い、運動と健康のかかわり方について指導するとともに、現時点における自己の状況を的確に認識させ、生活習慣や行動の変容に向けた「気づき」や「自覚」を促し、自己の健康管理意識の醸成に努めました。

今後も、社員の健康の保持・増進に向け、創意工夫による積極的な取り組みを行ってまいります。

□ 活動実績 6コース 6回 195名参加

チームN T Tの取り組み

多様性の尊重に向けた取り組み

N T T千葉グループは、多様な人材の活用、多様な働き方の推進が、一人ひとりの能力の最大限の発揮、ひいてはトータルマンパワーの最大化につながっていくとの認識の下、一丸となってダイバーシティ・マネジメントを推進していきます。

■ダイバーシティ・マネジメントの推進

社会の変化に伴い、多様化するお客さまのニーズにお応えしていくには、N T T千葉グループ内にも同様の多様性を形成していくことが必要です。そこで、社員一人ひとりが持つ能力や特性、価値観の違いを尊重し、一人ひとりの社員を効果的・戦略的に活用していくために、2010年7月に「ダイバーシティ推進室」を発足させました。

ダイバーシティ・マネジメント推進に向け、今後の行動計画の柱として「ダイバーシティ文化の醸成」、「ワーク・ライフ・バランスの推進による仕事の効率性・生産性の向上」、「すべての社員等が力を発揮できる職場づくり」を策定しました。

今後は、各タスクにダイバーシティ推進者を任命しダイバーシティ・マネジメントの基盤強化を図るとともにさまざまな活動を積極的に展開していきます。

具体的には、会議の生産性向上を図るための基本ルールを定めた「Value Meeting活動」、在宅勤務の積極的な活用に向けた取り組みの推進、バリアフリーなコミュニケーションを推進する「オフサイト・ミーティング」の推進など、多様な人材が活躍できる風土づくりに努めていきます。

■福利厚生

社員が入社してから退職するまでの間、ライフプランやライフスタイルに応じてさまざまな福利厚生メニューが選択できる「カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）」や、社員がライフプランの設計や見直しが行えるよう、節目をとらえた「ライフデザイン研修（4回）」を実施するとともに、「ライフデザイン相談室」も用意しています。

●各種制度の一例

	制度の名称	概要		制度の名称	概要
育 児	育児休職	子どもが満3歳になるまで取得可	介 護	介護休職	最長1年6カ月まで取得可
	短時間勤務	子どもが小学校3年生の年度末までの期間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可		短時間勤務	介護休職の期間とあわせて最長3年間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	育児に専念するために退職した場合、一定の要件を満たせば選考により再採用が可能		再採用制度	介護休職後、引き続き介護のために退職した場合、退職後一定期間内に社員として再採用
	ライフプラン休暇（育児）*	子どもの養育を目的に、1週間以上の休暇として取得可		介護休暇 2010年6月新設	家族の介護を目的に、1年度につき5日取得可* （被介護者が2人以上の場合は10日）
	育児支援サービス（カフェテリアメニュー）	ベビーシッター育児支援サービス（子どもの家庭内での保育、保育所等への送迎）の割引券の交付等		ライフプラン休暇（介護）*	家族の介護を目的に、1週間以上の休暇として取得可

* 勤続年数5年ごとに5日間の休暇が発効され、また失効年休の一部についても積立可能な休暇

コミュニケーションツールのご紹介

NTT千葉グループでは、安心して働ける職場づくりと地域社会とのより良い関係を構築するために、適切に情報を公開し、社会と企業の相互理解・共感をいかに深めるかは大切な要素と考えます。各種ツールを活用し、社内外との情報の共有を図っています。

〔NTT東日本 千葉支店ウェブサイト〕

■社外向けウェブサイト

NTT東日本千葉支店およびNTT東日本一千葉のご案内や新しいサービスのお知らせなど、さまざまな情報を提供させていただいています。

- <http://www.nttchiba.com/>
- <http://www.ntteast-chiba.co.jp/>



〔NTT東日本-千葉ウェブサイト〕

■社内コミュニケーションウェブサイト

社内の情報をリアルタイムに共有するため、ウェブイントラサイトを活用、また、業務改善を中心としたサイトや電子新聞を活用するなど、社内におけるコミュニケーションの充実を図っています。



〔社内イントラサイト〕

〔カイゼン/わいがや新聞〕



〔カイゼン推進のイントラサイト〕